

① シシャモの成熟の進行について (10/22現在)

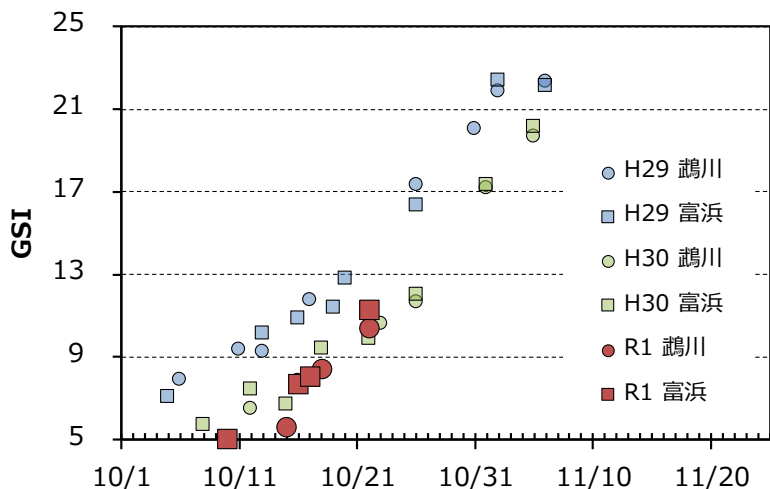


図1 シシャモメスの生殖腺重量指数 (GSI) の変化

10月22日までのメスの **GSI (卵巣重量÷体重×100)** の上昇はH30年と同じペースで推移しています。このまま成熟が進行すると、河川への遡上開始時期は昨年の遡上開始予測日 (11月7日) に近いと予測されます。

② シシャモの体長組成について

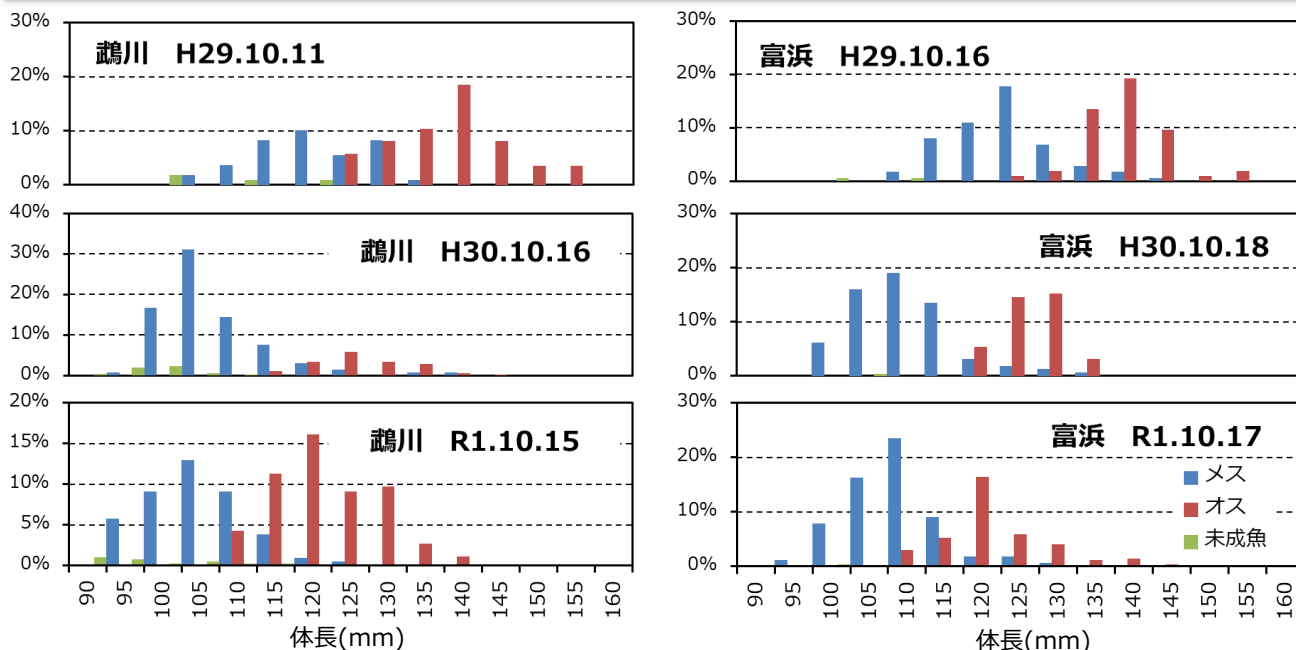
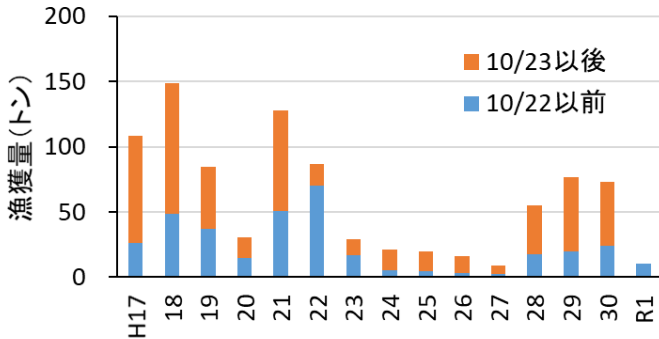


図2 シシャモ漁獲物の体長組成 (鶴川は無選別標本)

10月15・17日の漁獲物の体長組成は一昨年比べて小型で、全体的に小型だった昨年の同時期と比較しても雌雄ともにやや小型です。メスは105～110mm、オスは120mmにモード (中心サイズ) が見られます。

③ ししゃもこぎ網漁獲状況について（10/20・22現在）

こぎ網漁獲量



10月22日までのCPUE

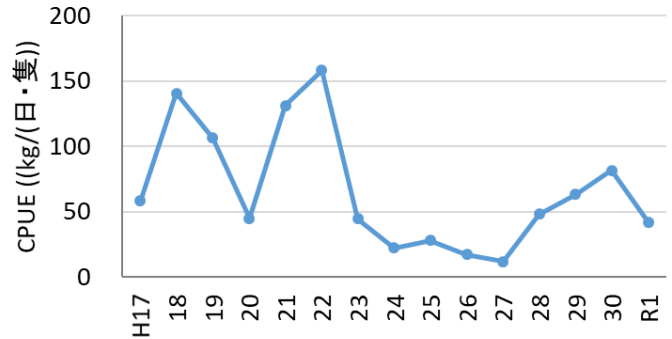
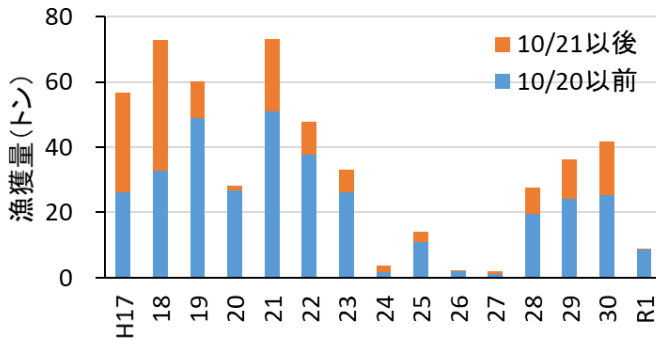


図3 胆振管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）

こぎ網漁獲量



10月20日までのCPUE

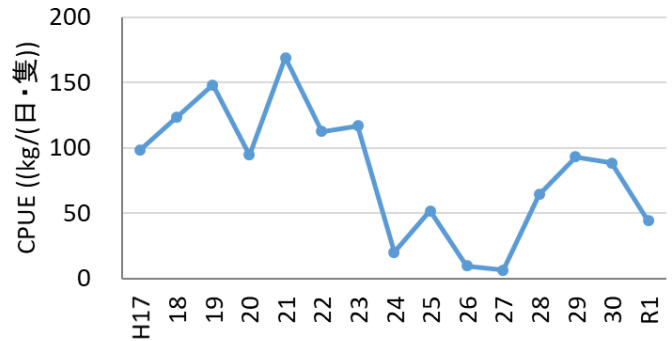


図4 日高管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）

現在までのししゃもこぎ網漁獲量は、昨年の同時期と比べて半分以下となっています。CPUE（1日1隻あたりの漁獲量）は、昨年よりは低い値となっていますが、漁が振るわなかったH24～27よりは高い状況となっています（日高管内H25を除く）。

今年度は11月初めに、シシャモの河川への遡上予測日を発表する予定です。